

令和 8 年度 枚方市市民アンケート報告書（速報版）

令和 8 年 8 月

枚方市 総合政策部 企画課

1. 調査手法等

<調査概要>

令和10年度からを計画始期とする本市の最上位計画である「次期総合計画」の策定に向けて、市民の皆さまのまちづくりに対するご意見をお聴きするため、アンケートを実施しました。

- (1) 実施期間 : 令和8年6月11日(木)～6月30日(火)
- (2) 対象 : 無作為抽出された市民3,000人
- (3) 調査方法 : 調査票の郵送(回答は郵送による返信もしくはLogoフォームによるインターネット回答のいずれか)
- (4) 有効回答数 : 1,093件(回答率36.4%)

※本報告書では、集計結果を小数点以下第2位で四捨五入しています。

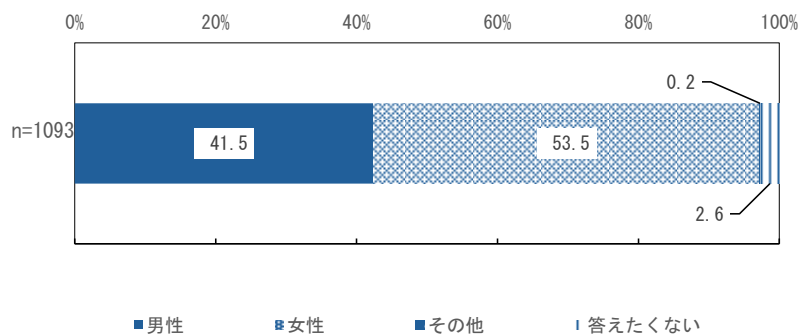
そのため、各回答の合計が100%に一致しないことがあります。

2. 調査結果

I 回答者属性

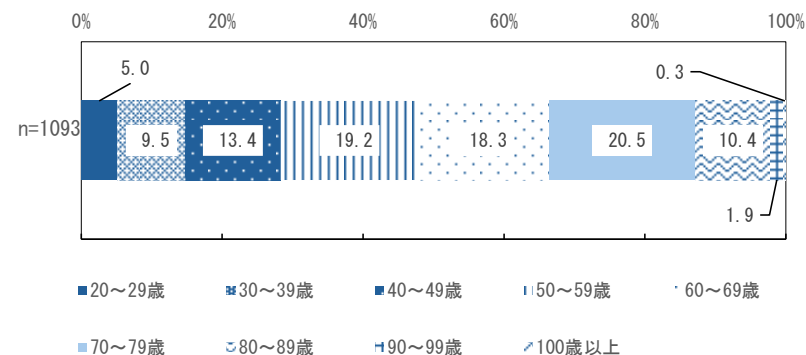
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が41.5%、「女性」が53.5%、「その他」が0.2%、「答えたくない」が2.6%となっています。



(2) 年齢

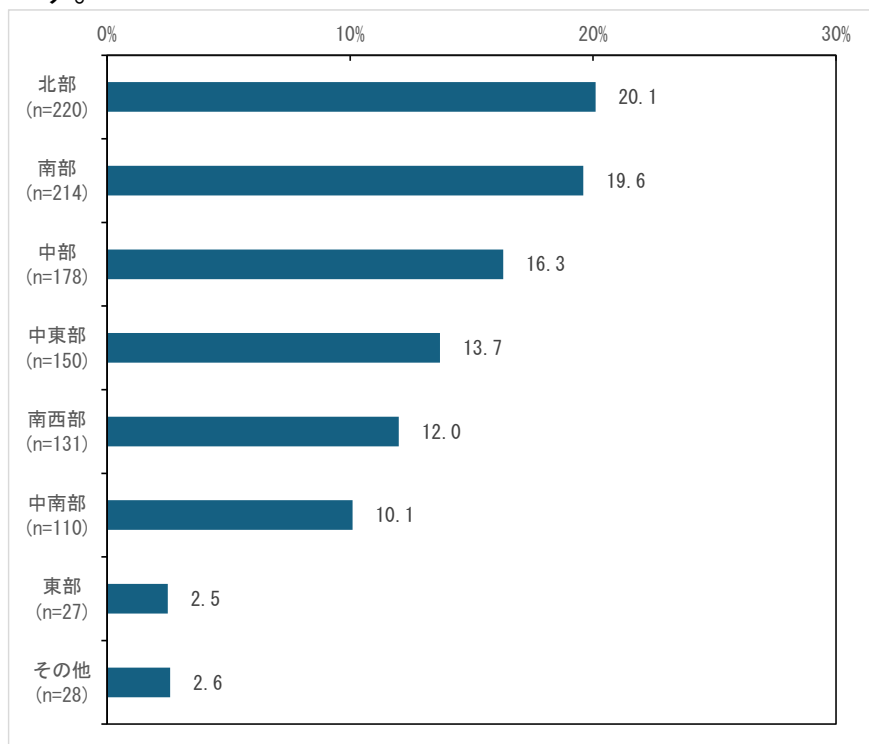
回答者の年齢は、「70～79歳」が20.5%で最も高く、次いで「50～59歳」が19.2%、「60～69歳」が18.3%と続いています。



2. 調査結果

(3) 居住地域

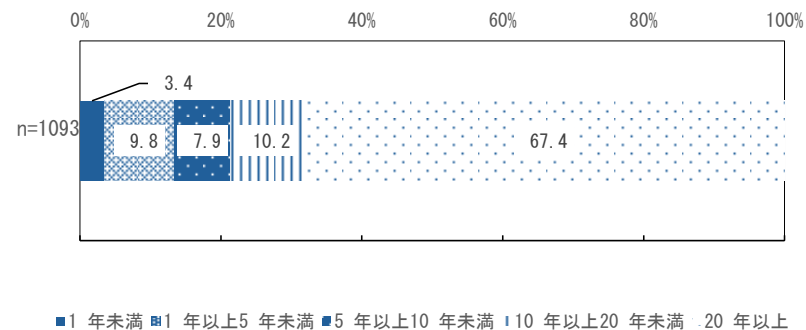
居住地域については、「北部」が20.1%で最も高く、次いで「南部」が19.6%、「中部」が16.3%と続いています。



※市域を主要な河川や幹線道路によって7つの地域（北部地域、中部地域、南西部地域、中東部地域、中南部地域、南部地域、東部地域）に区分しています。

(4) 居住年数

居住年数については、「20年以上」が67.4%で最も高く、次に「10年以上20年未満」が10.2%となっています。

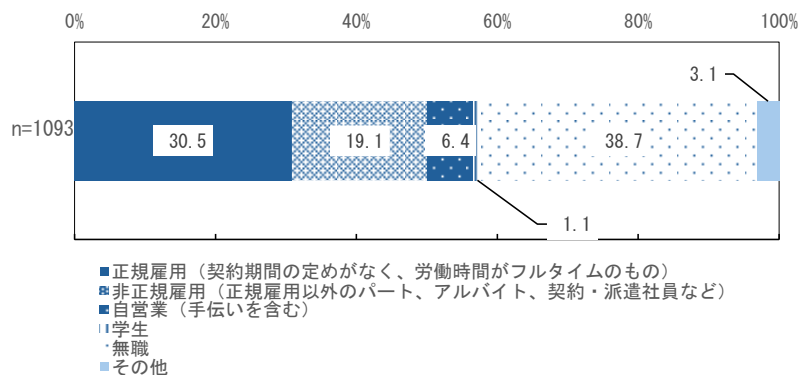


■ 1年未満 ■ 1年以上5年未満 ■ 5年以上10年未満 ■ 10年以上20年未満 ■ 20年以上

2. 調査結果

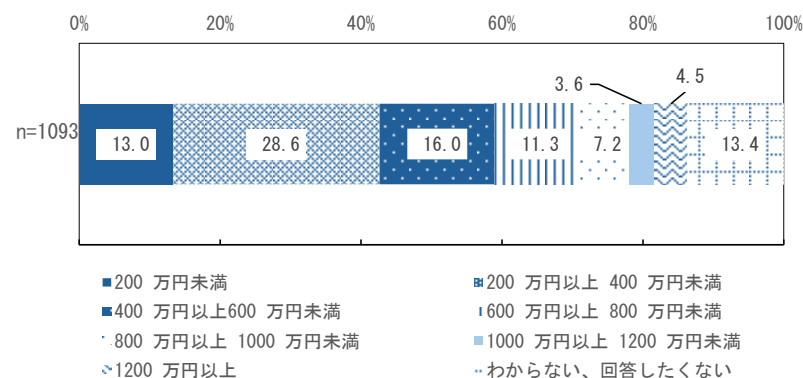
(5) 就業状況

就業状況については、「無職」が38.7%、「正規雇用（契約期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）」が30.5%となっています。



(6) 世帯年収

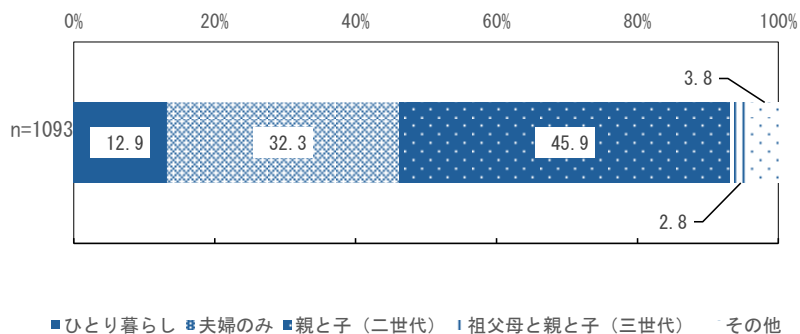
世帯年収については、「200 万円以上 400 万円未満」が28.6%で最も高く、次いで「400 万円以上600 万円未満」が16.0%となっています。



2. 調査結果

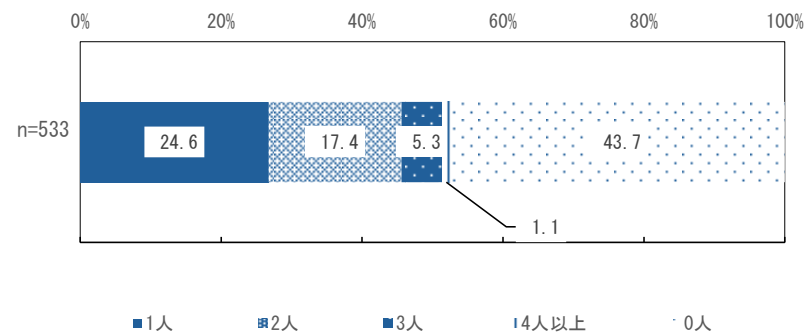
(7) 家族構成

家族構成については、「親と子（二世代）」が45.9%、「夫婦のみ」が32.3%、「ひとり暮らし」が12.9%となっています。



(8) 18歳未満の子どもの数

18歳未満の子どもの数については、「0人」が43.7%で最も高く、次いで「1人」が24.6%、「2人」が17.4%となっています。

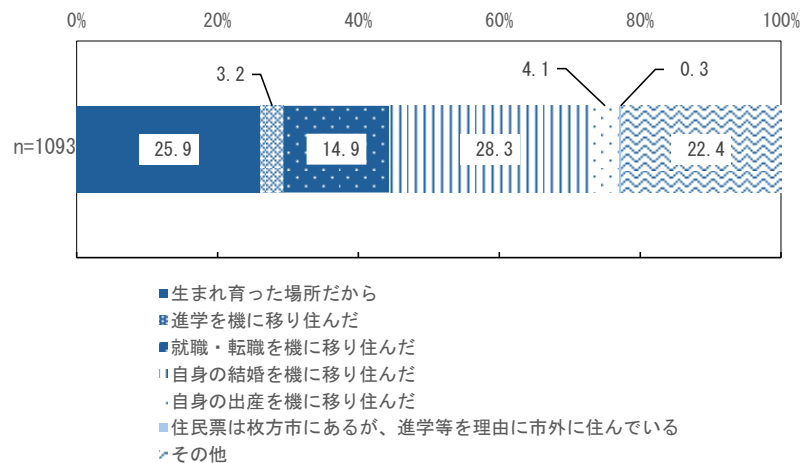


2. 調査結果

Ⅱ 枚方市の印象

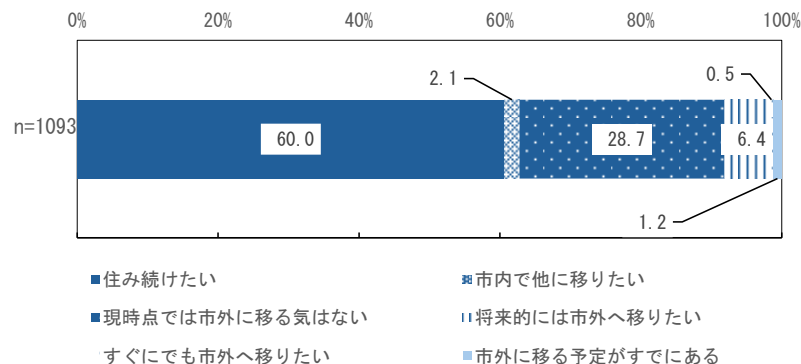
（１）現在、枚方市に住んでいる理由

現在枚方市に住んでいる理由については「自身の結婚を機に移り住んだ」が28.3%で最も高く、次いで「生まれ育った場所だから」が25.9%となっています。



（２）居住意向

枚方市での居住意向については、「住み続けたい」が60.0%、「現時点では市外に移る気はない」が28.7%となっています。

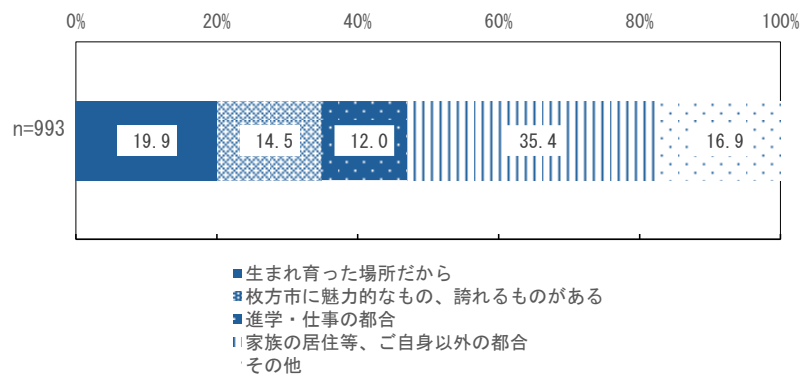


2. 調査結果

（3）枚方市に住み続けたい理由

（住み続けたい、市内で他に移りたい、現時点では市外に移る気はないを選択した方のみ）

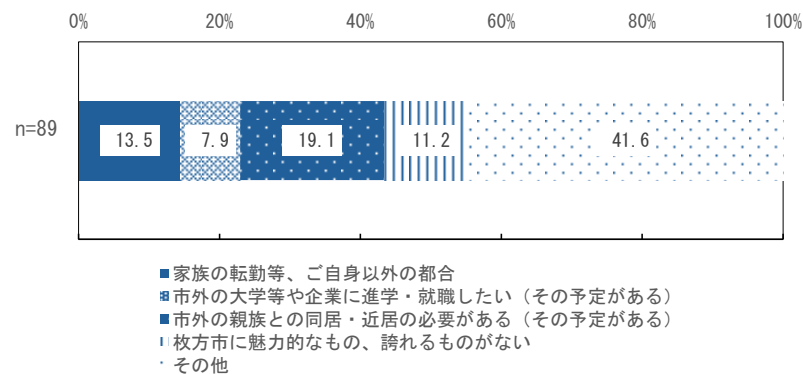
枚方に住み続けたい理由については、「家族の居住等、ご自身以外の都合」が35.4%で最も高く、次いで「生まれ育った場所だから」が19.9%となっています。



（4）市外に移りたい理由

（将来的には市外へ移りたい、すぐにでも市外へ移りたい、市外に移る予定がすでにあるを選択した方のみ）

市外へ移りたいと思う理由については、「その他」が41.6%、「市外の親族との同居・近居の必要がある（その予定がある）」が19.1%となっています。

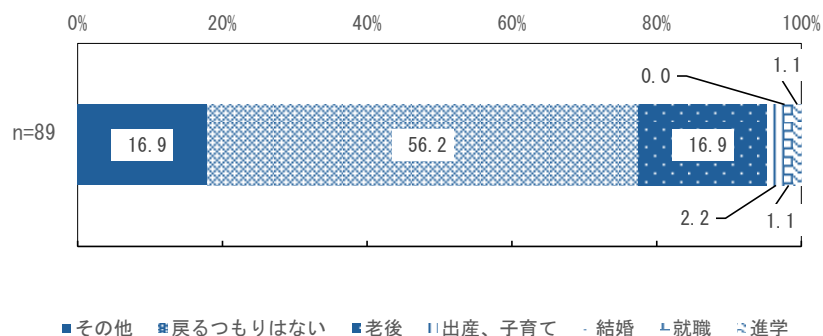


2. 調査結果

（5）枚方市へ戻るタイミング

（将来的には市外へ移りたい、すぐにでも市外へ移りたい、市外に移る予定がすでにあるを選択した方のみ）

将来的に枚方市へ戻るタイミングについては、「戻るつもりはない」が56.2%、「老後」が16.9%となっています。

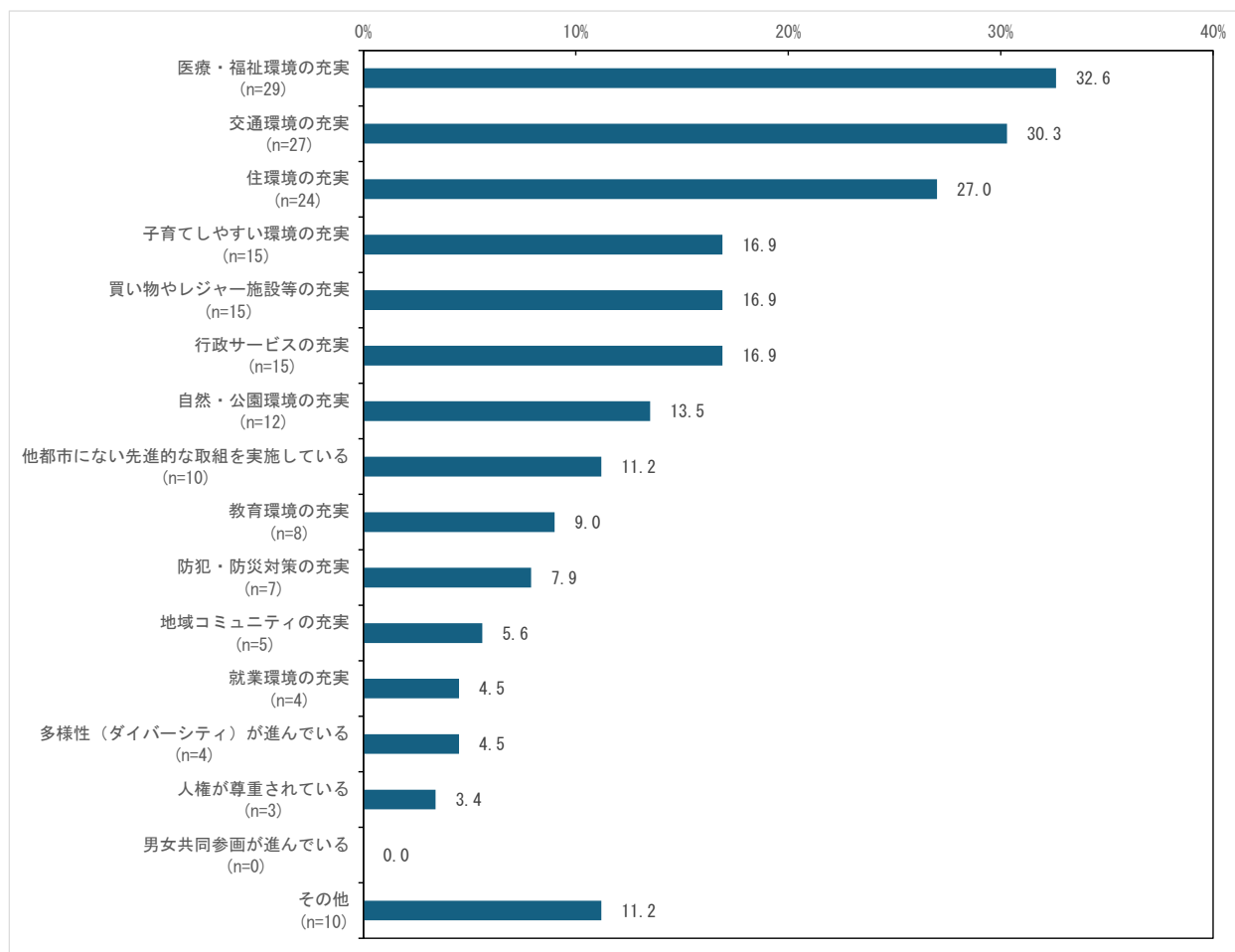


2. 調査結果

(6) 枚方市へ戻ることを検討する要素 <複数回答可>

(将来的には市外へ移りたい、すぐにでも市外へ移りたい、市外に移る予定がすでにあるを選択した方のみ)

枚方市へ戻ることを検討する要素については、「医療・福祉環境の充実」が32.6%で最も高く、次いで「交通環境の充実」が30.3%、「住環境の充実」が27.0%となっています



2. 調査結果

（7）住み続けたい理由としての「魅力的なもの、誇れるもの」は何ですか。

全体として、枚方市は「利便性、自然、安心感、文化がほどよく調和した、長く住み続けたいまち」と捉えられています。

枚方市の魅力として多く挙げられたのは、交通アクセスや買い物の利便性に関する意見で、大阪と京都の中間に位置し、京阪電車で両都市へ移動しやすいことや、くずはモール、枚方モールなどが充実し、市内で日常生活の多くを完結できる点が評価されています。

続いて、「都会すぎず田舎すぎない、バランスの取れた住みやすさ」に関する意見で、スーパーや商業施設、病院、学校など生活に必要な施設が身近にそろう一方、公園や河川、里山などの自然も多く、「ほどよく便利」「落ち着いて暮らせる」といった声が見られました。

また、自然やゆとりある住環境に関する意見も見られ、緑の豊かさ、静かな住宅地、空の広さなどが挙げられました。このほか、子育て、医療、福祉、教育環境の充実や、ひらかたパーク、くらわんか花火、五六市、宿場町としての歴史資産も魅力とされています。

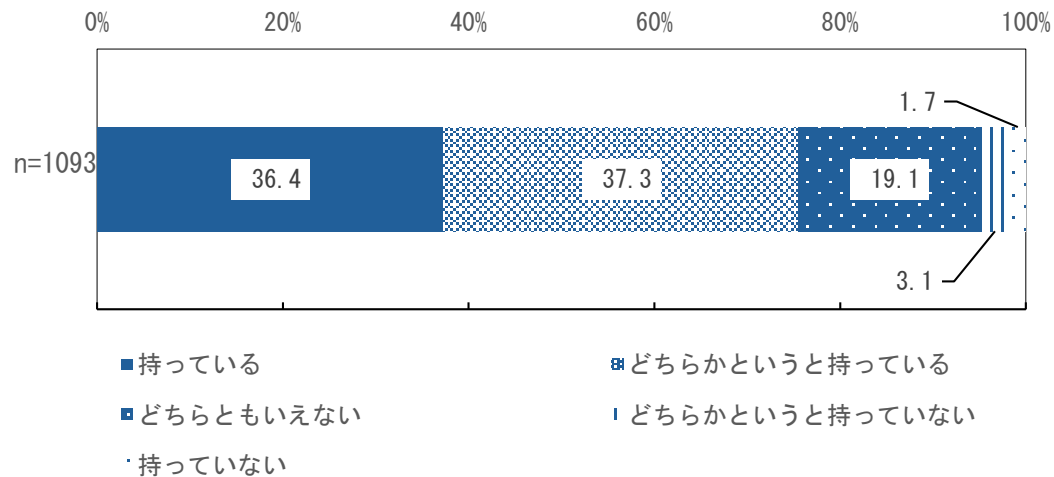
【主なご意見】

- ・ 大阪、京都、奈良にも近い便利な交通環境と、都市部にありながら恵まれた自然環境
- ・ 都会（大阪市内、京都市内等）に行かずとも何でも揃う利便性
- ・ 都会すぎず田舎すぎない、バランスの取れた住みやすさ
- ・ 他の市町村より優れている、都会過ぎず生活しやすい環境
- ・ 豊かな自然と子育てしやすい環境
- ・ 豊富な緑と充実した医療・商業施設による子育てのしやすさ など

2. 調査結果

(8) あなたは枚方市に愛着をお持ちですか。

枚方市に対する愛着については、「持っている」が36.4%、「どちらかというを持っている」が37.3%となっています。



2. 調査結果

(9) 愛着を持てる理由を教えてください。

全体として、枚方市への愛着は「長年の暮らしと思い出」を中心に、利便性、自然、安心感、人とのつながりが重なって形成されています。

枚方市に愛着を持つ理由として多かったのは、生まれ育ったことや長年暮らしてきたこと、家族との生活や子育てなどの思い出に関する意見で、「故郷だから」「住み慣れている」「家族や友人がいる」といった声が多く、長い居住経験や人とのつながりが愛着の基盤となっています。

続いて、交通、買い物、医療などの生活利便性に関する意見で、大阪と京都の中間にあり、通勤・外出に便利なことや、スーパー、モール、病院などが身近にそろう点が評価されています。

また、「都会すぎず田舎すぎない」「ほどよく便利で落ち着いている」など、住みやすさや都市と自然のバランスに関する意見もありました。

さらに、緑や公園、治安の良さ、静かな住環境に関する意見、近所付き合いや友人、子育て支援、福祉・文化施設などに関する意見も見られました。

【主なご意見】

- ・自身の生まれ育った場所だから
- ・親しい近所の人や友人がいるから
- ・自然豊かで綺麗な景色と、大阪市や京都府へのアクセスが良いから
- ・スーパーなどが近くにあるから
- ・良好な治安と便利な立地であることや、友人・親戚がいるから
- ・子育てがしやすく、住環境が良いから

2. 調査結果

（１０）愛着を持ってない理由を教えてください。

全体として、愛着を持ってない背景には「地域との接点の少なさ」に加え、「枚方らしさの不足」と「行政・都市機能への不満」があると考えられます。

枚方市に愛着を持ってない理由として多かったのは、「枚方らしい魅力や特徴が感じられない」という意見で、「これといった名産品や象徴がない」「都市としての統一感やセンスに欠ける」「飲食店や憩いの場が少ない」など、他市に誇れる個性やにぎわいを求める声が見られました。

続いて、転入して間もないことや出身地ではないことなど、地域との関わりの浅さに関する意見や、また、行政サービスへの不満も見られました。

さらに、駅前開発の遅れや古い公共施設、渋滞、車がないと生活しにくいこと、公共交通の不足など、都市基盤や移動環境への不満もありました。このほか、地域コミュニティの少なさや同調圧力、多様性への配慮不足を指摘する意見もありました。

【主なご意見】

- ・ 枚方らしさがないから
- ・ 都市的センスに欠けるから
- ・ 居住年数が短いから
- ・ 良好な住環境に対し、公園などの憩いの場やコミュニティが少ないから
- ・ 税金や健康保険料の使途、医療施策、身近な公民館の対応への懸念があるから など

2. 調査結果

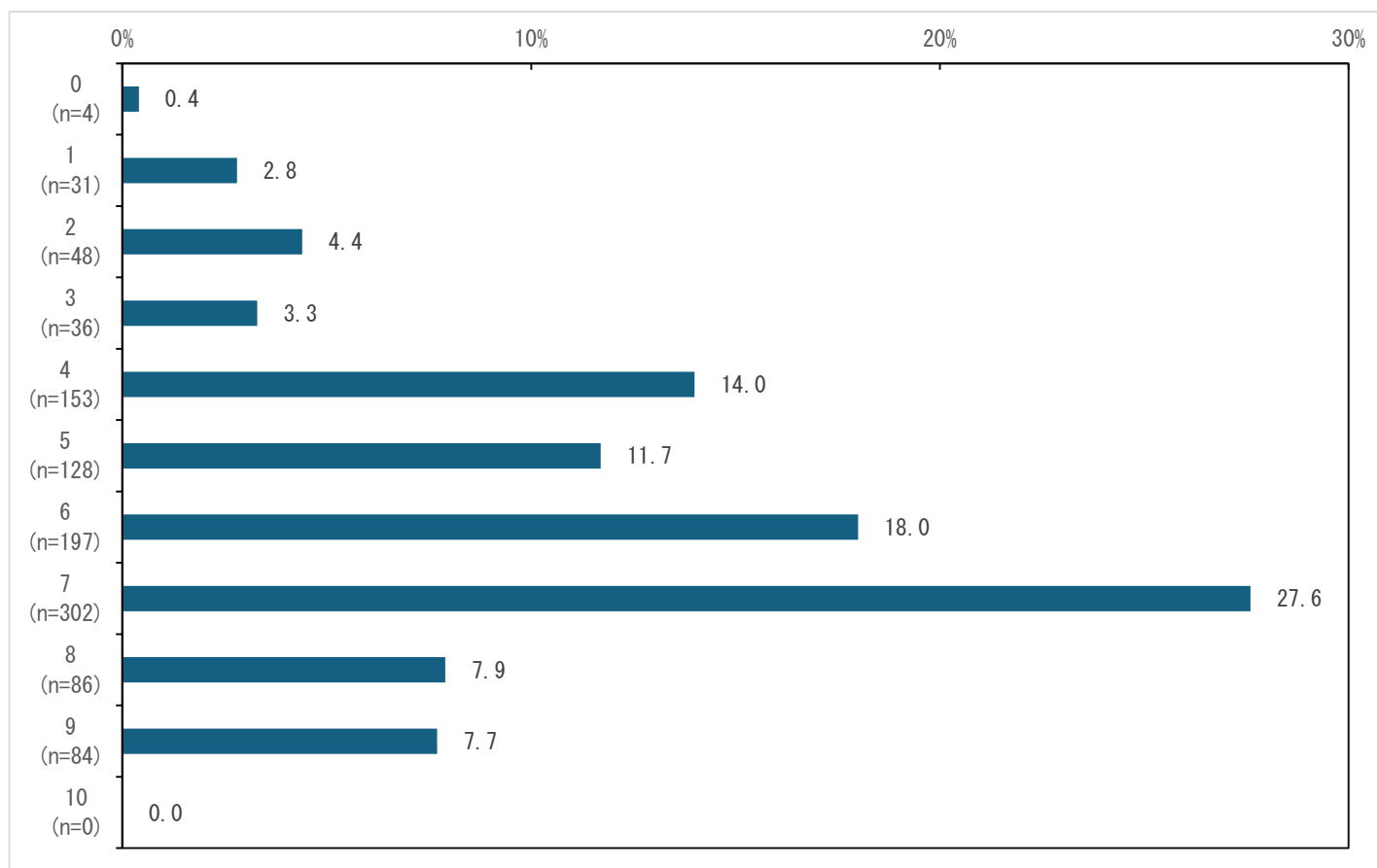
Ⅲ 生活満足度

(1) 生活満足度

生活満足度については、「7点」が27.6%で最も高く、次いで「6点」が18.0%、「4点」が14.0%となっています。

なお、平均は「5.8点」となりました。

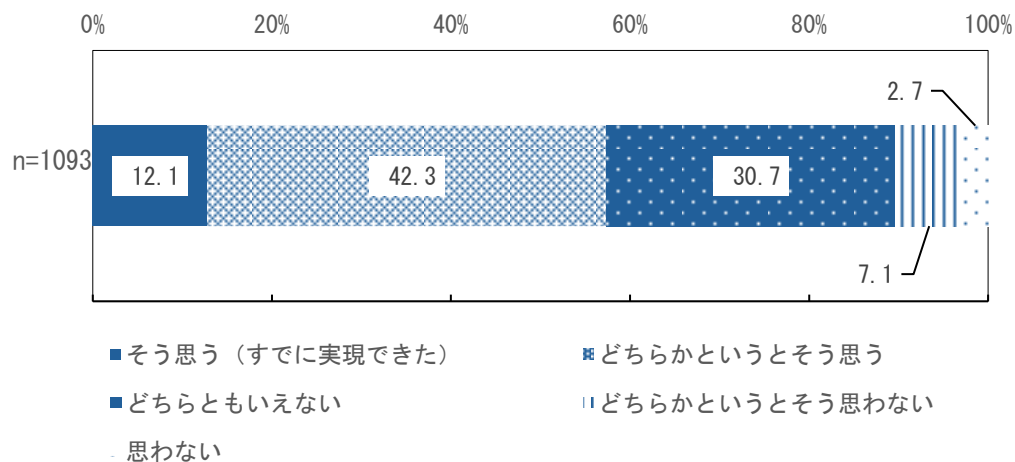
1-1：あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、何点くらいになると思いますか。



2. 調査結果

(2) 今の枚方市で理想の暮らしや幸せを実現できると思いますか。

枚方市での理想の暮らしや幸せの実現性については、「どちらかというと思う」が42.3%最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.7%となっています。



2. 調査結果

(3) 実現できる・できたと思う理由は何ですか。

全体として、「現在の生活への満足」を基盤に、生活利便性、安全性、住環境、人とのつながりが、理想の暮らしを実現できるという実感につながっています。

理想の暮らしを実現できると考える根拠として多かったのは、「現在の暮らしに大きな不満や不自由がなく、すでに理想に近い生活ができている」という意見で、家族が健康で、穏やかに暮らせていることや、持ち家があり、仕事や収入が安定していることなどが理由として挙げられています。

続いて、スーパー、病院、商業施設、駅やバスなど、生活に必要な機能が身近にそろっていることに関する意見で、特に、徒歩圏内で買い物や通院ができることや、大阪・京都への交通アクセスの良さが評価されています。

また、治安の良さや災害の少なさ、静かで緑の多い住環境を根拠とする意見も見られました。

このほか、家族や近隣住民との良好な関係、友人や地域活動を通じたつながり、子育て・医療・介護・福祉サービスの充実も挙げられています。

【主なご意見】

- ・今の暮らしに不満がないから
- ・家族全員の仲が良く、近所づきあいにも恵まれているから
- ・関西医大病院や市民病院があり、また、食料や生活必需品が比較的近くで入手できるから
- ・今現在、大きな病気もなく、生活の利便性にも不自由はしていないから
- ・公園などの増加や、枚方モールなどの市駅前発展、支援センターなどの子育て環境もあるから
- ・交通の利便性が高く、自然と都市機能が調和しているから

1

(4) 理想の暮らしや幸せを実現するうえで障壁となっていることや、行政のサポートが必要なことはありますか。

全体として、将来も安心して暮らすため、移動・福祉・経済面を中心とした、身近で分かりやすく公平な支援が求められています。

理想の暮らしを実現するために必要なサポートとして多く挙げられたのは、高齢者の移動、医療、介護、独居生活への支援で、バスの減便や運賃負担、免許返納後の移動手段への不安が多く、コミュニティバスや乗合タクシー、交通費補助、介護施設や相談体制の充実が求められています。

続いて、税金・保険料・物価高など経済的負担の軽減に関する意見で、住民税、国民健康保険料、水道代、医療費、教育費などの負担軽減や、所得・世代を問わない公平な支援を求める声が見られました。

また、保育園の拡充、保育料や教育費の補助、遊び場や学童の整備など、子育て・教育支援に関する意見もありました。

さらに、道路・歩道の整備、渋滞対策、買い物環境、地域コミュニティ、行政情報の分かりやすい発信や相談窓口の充実も求められている一方、「現時点では必要ない」「特にない」とする回答も一定数ありました。

【主なご意見】

- ・交通の便の悪さとバスの本数の少なさ
- ・公共交通（バス）の減便による車利用の増加
- ・物価の高騰
- ・非課税世帯や乳幼児のみならず、食費や学費がかかる子育て世帯への支援
- ・狭い道路の多さ
- ・国道など主要道路の渋滞の起きやすさ
- ・子育て支援を充実 など

2. 調査結果

（５）あなたの考える“枚方市の強み（特徴、魅力）”は何だと思いますか。

全体として、交通・立地の利便性、豊かな自然、落ち着いた住環境が調和した、暮らしやすいまちだという意見が多くありました。

まず、大阪と京都の中間に位置する交通アクセスの良さを評価する声が多く、特に、京阪電車を利用して通勤・通学や外出がしやすいという意見が目立ちました。また、都会すぎず田舎すぎない環境、緑や公園が身近にあること、治安や災害面で安心して暮らせることを評価する声も多いです。

続いて、スーパーや商業施設、病院など生活に必要な施設がそろい、日常生活を便利に送れる点を評価する意見も見られました。

さらに、ひらかたパーク、くらわんか花火、五六市、宿場町の歴史などの観光・文化資源、子育て・教育・福祉環境、人や地域のつながりを強みとする声もありました。

【主なご意見】

- ・ 京阪電車による大阪・京都へのアクセスの良さ
- ・ 都市部と田舎の中間に位置する住みやすさ
- ・ 住みやすさと災害の少なさ
- ・ 大阪と京都の中間という立地による交通利便性の魅力
- ・ 整った交通網と豊富な店舗による買い物のしやすさ
- ・ ひらパーなど全国的知名度を誇る施設の存在 など

2. 調査結果

（６）あなたの考える“枚方市の弱み（課題、枚方市に足りないもの）”は何だと思われますか。

全体として、交通基盤や公共交通の不便さ、市の特色・賑わいの不足、子育て・福祉などの生活支援の課題を指摘する意見が多くありました。

まず、道路や移動環境の改善を求める声が多く、特に、慢性的な渋滞、狭い道路・歩道、京阪バスの減便や路線不足により移動しにくいという意見が目立ちました。また、枚方市駅周辺の整備の遅れや、市内東西・JR沿線の交通利便性の低さを指摘する声も多いです。

続いて、枚方らしい特色や魅力、にぎわいの不足、子ども・若者が楽しめる公園・商業施設の充実、子育て・教育支援などを求める意見も見られました。

さらに、高齢者・障害者福祉や医療サービスの充実、税・保険料負担の軽減、企業誘致や市内雇用の創出、行政の情報発信や対応改善を求める声もありました。

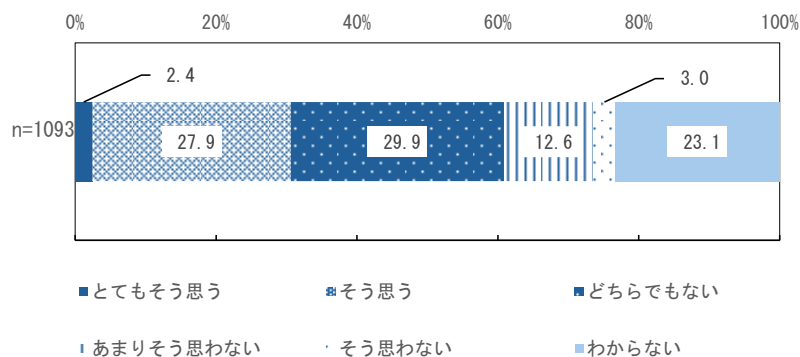
【主なご意見】

- ・バス等公共交通手段の不足
- ・道路環境の悪さ（狭さや渋滞の起きやすさ）
- ・枚方市駅前の整備の遅れ
- ・JRや空港へのアクセスの弱さ
- ・子どもが自由に遊べる施設の少なさ
- ・高齢者向け住民サービスの不十分さ など

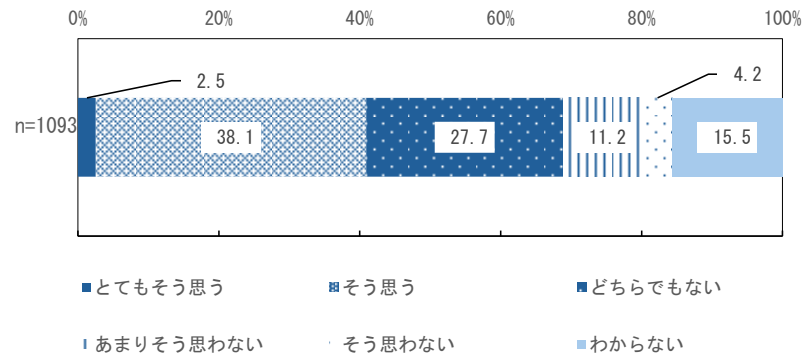
2. 調査結果

V 施策評価

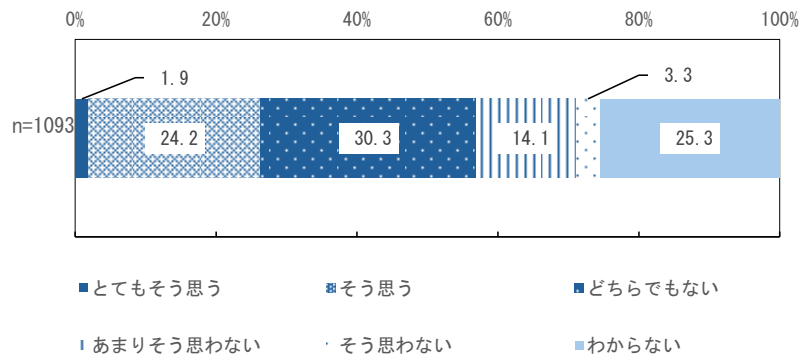
(1) あなたは今の枚方市が“災害に対する備えができてい
るまち”だと思いますか。



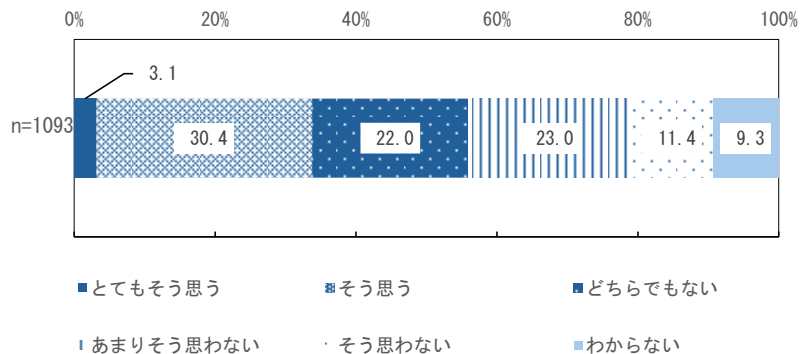
(3) あなたは今の枚方市が“暮らしに身近な安全が確
保されたまち”だと思いますか。



(2) あなたは今の枚方市が“災害時に、迅速・的確に対応
できるまち”だと思いますか。

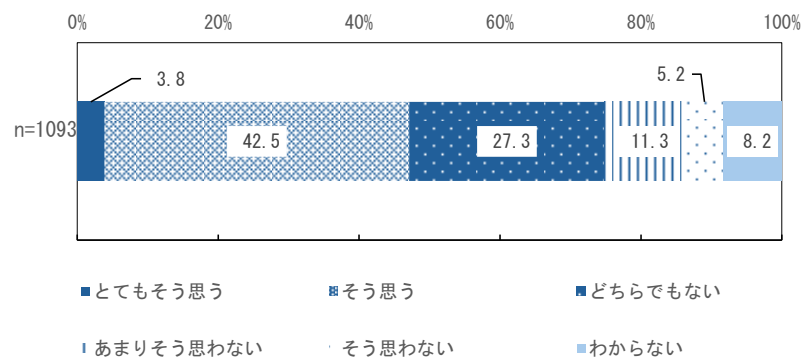


(4) あなたは今の枚方市が“安全で快適な交通環境が
整うまち”だと思いますか。



2. 調査結果

(5) あなたは今の枚方市が“快適で暮らしやすい環境を備えたまち”だと思いますか。



2. 調査結果

(6) 枚方市が、より“安全で、利便性の高いまち”になるためにはどんなまちづくりが必要ですか。

①防災

全体として、防災意識の向上に加え、情報発信、地域での訓練、避難所・備蓄・庁舎等の整備、災害時にも機能する交通環境を進めることで、実効性のある防災力の高いまちを求める意見が多くありました。枚方市は大きな災害被害が比較的少ないという認識がある一方、そのために防災意識が十分に高まっていないのではないかという懸念も見られました。

まず、災害への備えを「市民一人ひとりに浸透させること」を求める声が多いです。具体的には、家庭での備蓄、避難場所や避難経路の確認、防災訓練への参加、ハザードマップや災害に備えたマニュアルの周知など、災害時に市民が自ら判断し行動できるようにするための啓発や情報発信を重視する意見が多いです。

続いて、水害・浸水対策や避難所、備蓄、災害時の行政機能など、具体的なハード面の防災体制の整備を求める意見で、淀川や天の川周辺の水害リスク、土砂災害区域への対応、市役所や消防施設などの老朽化、避難所設備の充実に関する指摘がありました。

また、交通面に関連して災害時に緊急車両が円滑に通行できるよう、道路の狭さを改善すべきという意見があります。

【主なご意見】

- ・ 災害マニュアルの配布、教育・訓練の実施、防災備品の配布、防災対策の補助、およびその積極的な広報があるまち
 - ・ 地区の災害に備えたマップが作成されたまち
 - ・ 増加する高齢者が情報に取り残されないまち
 - ・ 災害時避難場所の案内板が充実したまち
 - ・ 避難場所や避難経路が充実したまち
 - ・ 有事におけるWi-Fiや備蓄の活用体制が整備されたまち
 - ・ 淀川氾濫や豪雨への対策がされているまち
- など

1888

⑤

全体として、地域の見守り、防犯設備の充実、情報共有を組み合わせ、子どもや高齢者を含め誰もが安心して暮らせるまちを求める意見が多くありました。

まず、防犯パトロールや地域の見守り活動の強化を求める声が多いです。特に、子どもの登下校時や高齢者の見守り、夜間パトロール、警察による巡回の継続・強化を望む意見が多く、自治会や地域住民同士のつながりを重視する声も目立ちました。一方で、自治会だけに任せるのは限界があるという意見や、行政や警察、企業も含めた体制づくりを求める意見もありました。

さらに、防犯カメラや街灯の増設に関する意見で、住宅地や通学路、公園、駅周辺などで防犯カメラ・常夜灯・街灯を増やし、犯罪が起こりにくい環境を整えるべきとの声が多くありました。

その他、騒音、違法駐車など生活環境に関する意見も見られました。

【主なご意見】

- ・警察巡回が充実したまち
- ・子供たちのための防犯パトロールが強化されたまち
- ・地域と警察が連携した登下校時のパトロールがあるまち
- ・街灯が多いまち
- ・防犯カメラや常夜灯が多いまち
- ・住宅地周辺の路上駐車や騒音バイクの取り締まりがあるまち
- ・市役所・警察等のシステム強化と道路が広いまち

2. 調査結果

③交通

全体として、安全な道路空間の確保、渋滞緩和、バスの利便性向上などを進め、安心して移動できるまちを望む意見が多くありました。

まず、道路・歩道・自転車道の安全性向上に関する意見で、道幅が狭い、歩道がない・狭い、路面が傷んでいる、自転車レーンが危険、歩行者・自転車・自動車の分離が不十分といった指摘が多く、子ども、高齢者、車いす利用者も安心して通行できる道路整備を求める意見もあります。

続いて、交通渋滞の解消を求める声としては、特に、国道1号線、枚方市駅周辺、楠葉方面、病院周辺、枚方大橋などで慢性的な渋滞が発生しているとの指摘が多く、幹線道路の整備や踏切待ちの解消、広域交通網の強化を求める意見が目立ちました。災害時の避難や緊急車両の通行を考えても、渋滞緩和が必要だという声もありました。

また、公共交通の維持・充実を求める意見も見られました。京阪バスの減便、駅までの移動手段不足課題として挙げられ、バスの増便、バス会社への補助、タクシー補助などを求める声がありました。

【主なご意見】

- ・ 国道1号線などの道路の交通渋滞が少ないまち
- ・ 自動車に近い自転車レーンや、原付・バイク走行による危険がないまち
- ・ 歩道が広く十分にあるまち
- ・ バスの利便性が高いまち など

2. 調査結果

④都市機能・都市計画

全体として、生活利便施設や公共交通の充実により、誰もが暮らしやすい都市基盤を求める意見が多くありました。

まず、スーパーやコンビニ、商業施設など、日常生活に必要な施設の充実を求める声が多く、特に、高齢者や車を持たない人でも買い物に困らないよう、近くにスーパーやドラッグストア、コンビニを配置してほしいという意見が目立ちました。また、駅周辺や地域によって利便性に差があるため、枚方市駅周辺だけでなく、御殿山、牧野、長尾、坂の多い住宅地など、市内全体でバランスの取れたまちづくりを求める声も多いです。

続いて、公共交通の維持による高齢者を含めた移動の確保などを求める意見も見られました。

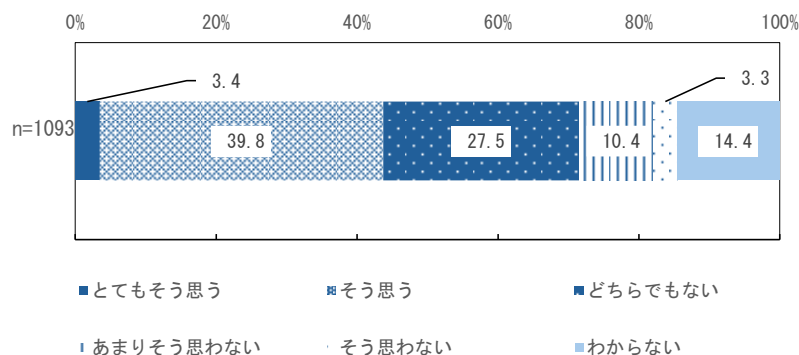
さらに、空き家対策、自然の保全を求める声もありました。

【主なご意見】

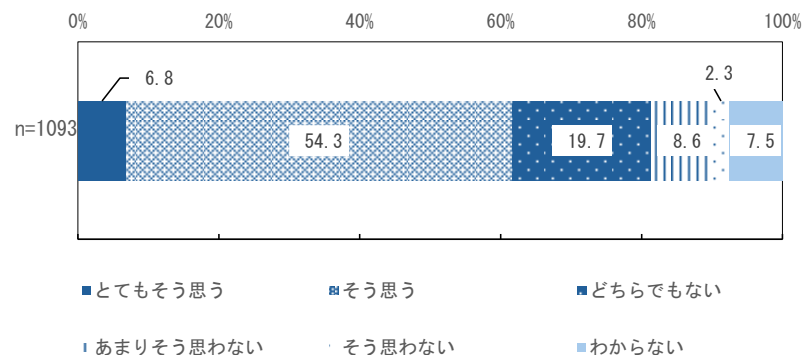
- ・ 加齢による移動範囲の縮小を考慮した日用品の買い物の利便性があるまち
- ・ 高齢者が行動しやすい環境を備えたまち
- ・ 駅までの交通手段が充実したまち
- ・ 車を手放しても日常生活に困らないまち
- ・ スーパー・病院へのアクセスが良いまち
- ・ 御殿山や牧野など小規模駅周辺にも大型モールがあるまち など

2. 調査結果

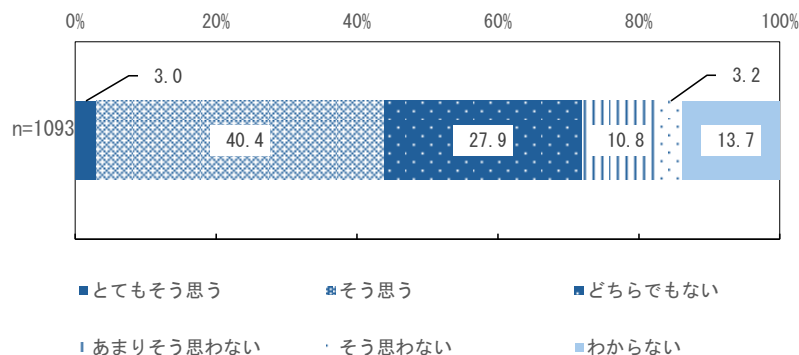
(7) あなたは今の枚方市が“誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち”だと思いますか。



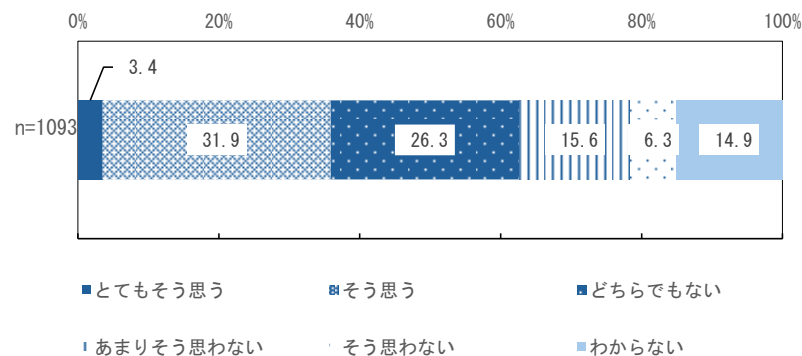
(9) あなたは今の枚方市が“安心して適切な医療が受けられるまち”だと思いますか。



(8) あなたは今の枚方市が“公衆衛生や健康危機管理が充実したまち”だと思いますか。

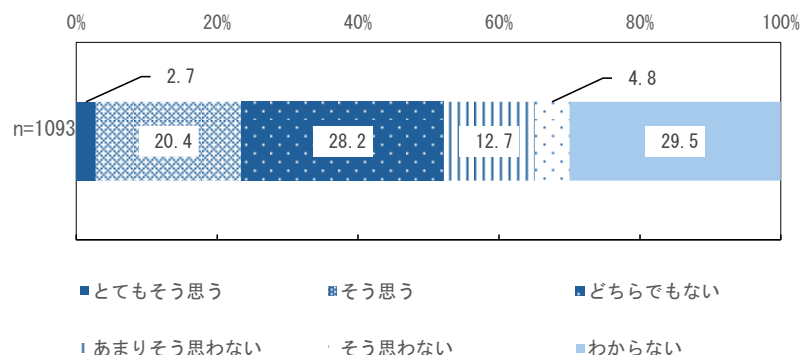


(10) あなたは今の枚方市が“高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち”だと思いますか。

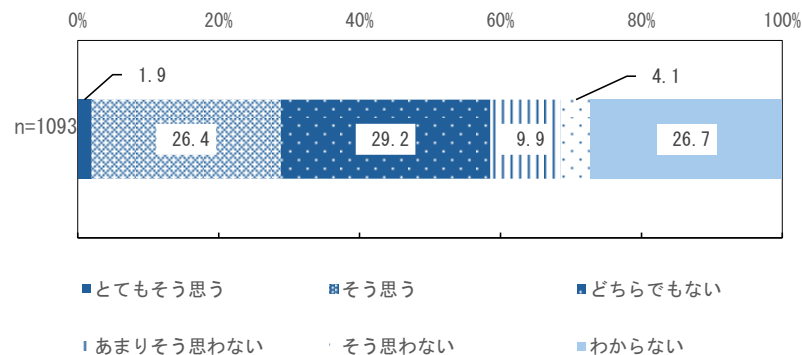


2. 調査結果

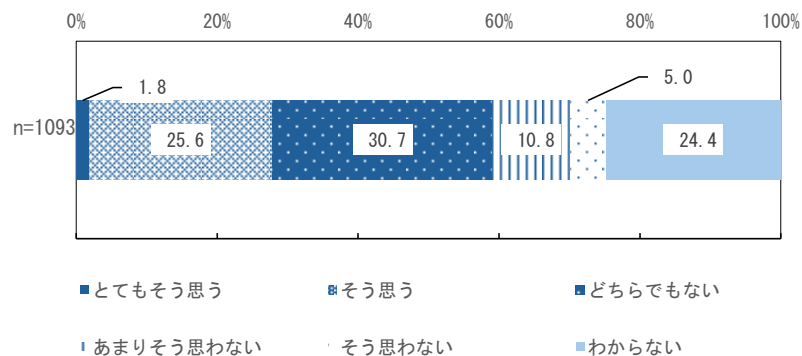
(11) あなたは今の枚方市が“障害者が自立し、社会参加ができるまち”だと思いますか



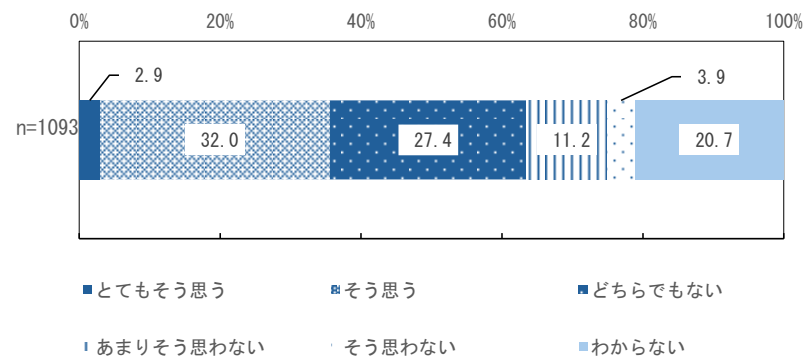
(13) あなたは今の枚方市が“男女がともに参画し、個性を発揮できるまち”だと思いますか。



(12) あなたは今の枚方市が“すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち”だと思いますか。



(14) あなたは今の枚方市が“平和の大切さを後世に伝えるまち”だと思いますか。



2. 調査結果

(15) 枚方市がより“健やかに、生きがいを持って暮らせるまち”になるためにはどんなまちづくりが必要ですか。

①健康増進

全体として、運動環境、地域交流を一体的に整え、誰もが健康意識を持ち、生きがいを感じながら暮らせるまちを望む意見が多くありました。

まず、運動できる施設や公園の充実を求める声が多いです。特に、誰もが気軽に利用できるスポーツ施設、散歩やジョギングがしやすい歩道、健康器具のある公園などを求める意見が目立ちました。子どもが自由に遊べる場所や、高齢者が無理なく体を動かせる場の必要性も多く指摘されています。

続いて、地域交流や生きがいづくりに関する意見で、多世代が参加できるイベント、地域のつながり、趣味や学習活動、ボランティア、祭りなどを通じて、孤立を防ぎ、楽しみながら健康を維持できる環境を求める声が多くありました。

また、健康意識の向上に関する意見もあり、生活習慣病予防、食事や運動に関する情報発信、健診・ワクチン助成、健康講座の充実などが挙げられました。

【主なご意見】

- ・ 運動施設や公園が多いまち
- ・ 朝晩の散歩やジョギングを促す健康的なまち
- ・ 高齢者も子どもも運動できる場所や施設があるまち
- ・ 子どもたちが遊べる公園が多いまち
- ・ 健康維持のための無料または格安の運動施設があるまち
- ・ 定期的に健康診断が受けられる助成制度が充実したまち
- ・ 地域で気軽に参加できる健康講座の開設があるまち
- ・ 健康診断やワクチンなど健康医療に関わる補助が十分にあるまち など

2. 調査結果

②医療

全体として、医療機関の充実、地域偏在の解消、救急・休日診療体制の強化、受診環境の改善などにより、誰もが必要な時に安心して医療を受けられるまちを望む意見が多くありました。

まず、医療機関や救急医療体制の充実を求める声が多いです。具体的には、病院や総合病院、かかりつけ医の充実、評価の高い病院や医師の確保、救急搬送時の受け入れ体制の整備、自宅や駅前の近くに各種医療機関がそろう環境づくりなどが挙げられました。また、病院の偏在をなくし、地域によって医療の受けやすさに差が出ないようにすべきという意見も複数見られました。

続いて、誰もが医療を利用しやすくするための受診環境の改善で、働く世代が平日に休みを取らなければ受診しにくいこと、休日診療所や医療機関の待ち時間が長いこと、車がないと医療機関へ行きにくい地域があることなどが課題として挙げられ、休日診療の充実、待ち時間改善、交通利便性の高い医療拠点の整備を求める声がありました。

また、高齢者、難病患者、子育て世帯への支援に言及する意見がありました。

【主なご意見】

- ・ 救急搬送の受け入れ体制が整備されたまち
- ・ 救急病院や休日診療が充実したまち
- ・ 駅前の病院等が充実したまち
- ・ 休日診療所の待ち時間が少ないまち
- ・ 地域のかかりつけ医にアクセスしやすく、総合病院もあるまち など

2. 調査結果

③高齢者・障害者福祉

全体として、高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して暮らし、健康を保ちながら生きがいや役割を持てるまちを求める意見が多くありました。

まず、運動施設や公園、交流施設など、高齢者等の外出や健康維持につながる場の充実を求める声が多いです。屋内施設、健康器具のある公園などを求める意見が目立ちました。高齢者が孤立せず、趣味やスポーツ、ボランティアを通じて地域社会とつながれる場所づくりが重要とされています。

続いて、移動支援やバリアフリー化に関する意見で、バスの減便や路線不足、タクシーが利用しにくい地域、坂道や歩道の段差、車いすの移動のしづらさが課題として挙げられ、コミュニティバス、乗り合いタクシー、交通費支援、歩道・道路の整備を求める声が多いです。

また、福祉サービスや相談支援、介護・障害者支援の充実を求める意見も見られました。障害者雇用や難病支援、介護施設・高齢者向け施設の充実、介護職員の確保や処遇改善などが求められています。さらに、孤立を防ぐ地域コミュニティづくりや、多世代が交流できるイベント、障害のある方や高齢者の方も役割を持ち、社会参加の場を望む声もありました。

【主なご意見】

- ・ 元気な高齢者も楽しめる運動ができる施設や公園があるまち
- ・ 福祉が充実していて高齢者が安心して暮らせるまち
- ・ 障害者の方も安心して過ごせるまち
- ・ バリアフリー化が推進されたまち
- ・ 高齢者向けの入居施設が充実したまち
- ・ 地域社会で活動できる環境が整ったまち
- ・ コミュニティバスのような乗り物があるまち など

2. 調査結果

④人権・平和

全体として、相互理解や人権教育を通じて、誰もが尊重され安心して暮らせる平和なまちを求める意見が多くありました。

性別、年齢、障害、国籍などにかかわらず、誰もが安心して暮らせる共生社会を求める意見が多く、個人の尊厳を守ること、多様性を認めること、障害者や高齢者、外国籍住民も参加しやすいイベントや居場所づくりを進めることが重要とされています。一方で、外国人住民の増加に対して、日本の生活ルールや文化を守るための周知・説明、受け入れに対する慎重な対応を求める声も一定数ありました。

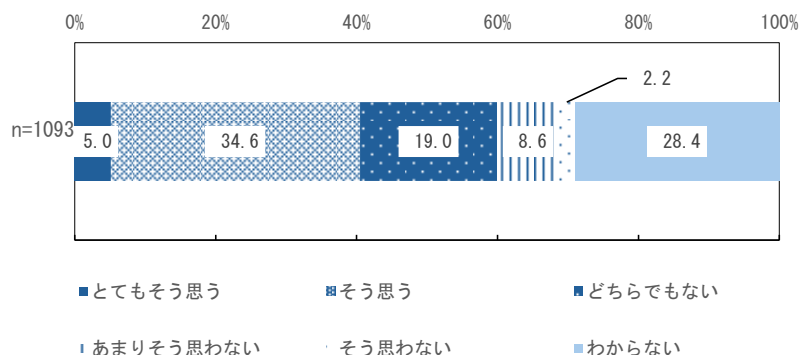
続いて、平和教育や人権教育の充実を求める意見もありました。戦争の悲惨さを伝えるだけでなく、平和を維持するために何が必要かを考える機会や、子どもの頃から他者との違いを認める教育を重視する声がありました。

【主なご意見】

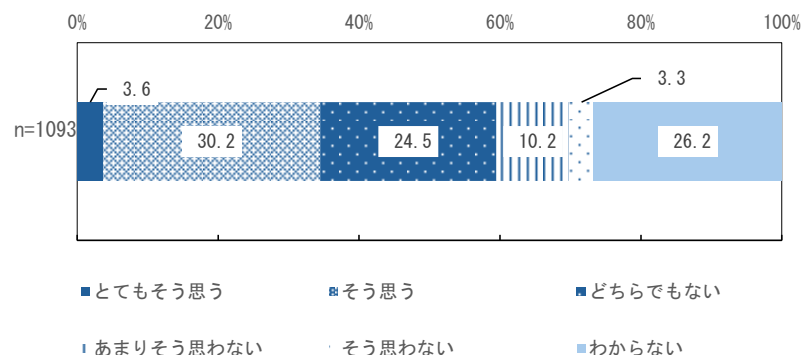
- ・ 性別・年齢・国籍をとわず誰もが安心して楽しく暮らせるまち
- ・ 小さい頃から他者との違いを認める心を育てる道德教育が充実されたまち
- ・ 人権に対する啓発がされているまち
- ・ 市のルールを外国語でも周知されているまち
- ・ 平和への想いが強いまち
- ・ 平和教育が充実したまち など

2. 調査結果

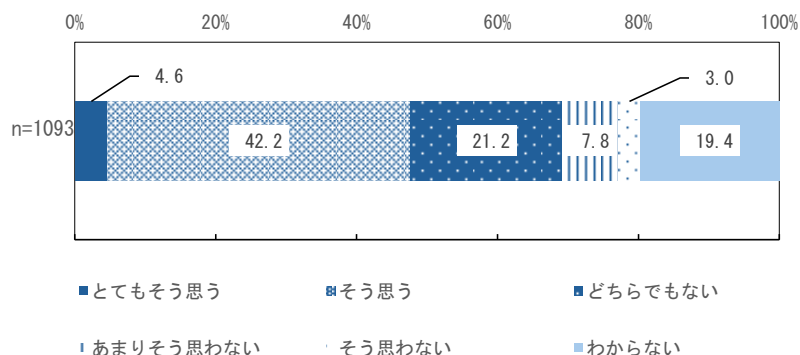
(16) あなたは今の枚方市が“安心して妊娠・出産ができる環境が整うまち”だと思いますか。



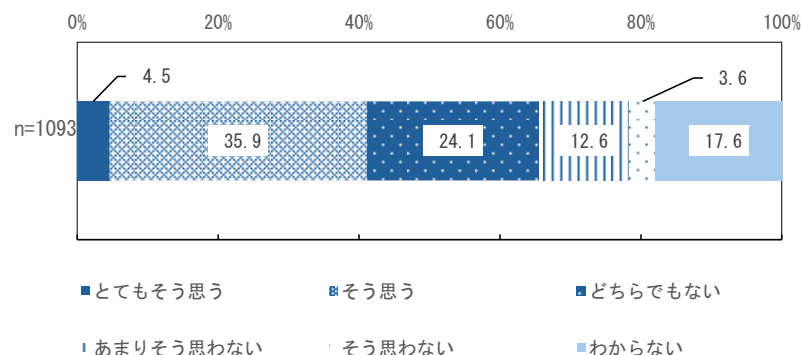
(18) あなたは今の枚方市が“子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち”だと思いますか。



(17) あなたは今の枚方市が“子どもたちが健やかに育つことができるまち”だと思いますか。



(19) あなたは今の枚方市が“誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち”だと思いますか。



2. 調査結果

（20）枚方市がより“一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち”になるためにはどんなまちづくりが必要ですか。

①子育て

全体として、遊び場、保育・相談支援を一体的に整え、地域全体で子どもの成長を支えるまちを望む意見が多くありました。

子育てに関する意見では、保育・学童・出産育児支援の充実を求める意見で、保育所や学童保育、病児保育、産婦人科、子育て支援センター、相談窓口、経済的支援などが挙げられ、共働き世帯やひとり親家庭、障害のある子どもを持つ家庭も安心して子育てできる仕組みが求められています。

子どもが安心して遊べる公園・施設の充実を求める声が多く、特に、身近な公園の遊具やトイレの整備、ボール遊びができる広場、天候に左右されない屋内施設、親子で出かけやすい場所を求める意見が目立ちました。公園が汚い、草が伸びている、遊具が少ない、近隣からの苦情で自由に遊びにくいといった課題も挙げられています。

【主なご意見】

- ・子どもたちが遊べる施設や遊具がたくさんあるまち
- ・子どもたちが遊べる公園があるまち
- ・子どもたちが遊べる広い広場があるまち
- ・子どもたちが遊べる遊具がある室内施設があるまち
- ・病児保育が充実したまち
- ・地域全体で子供達を見守るまち
- ・安心して妊娠出産ができ、ママたちのコミュニケーションがとれる場所がもっと近場にあるまち など

2. 調査結果

②教育・生涯学習

全体として、学校教育の質向上、生涯学習の充実、教育格差の解消、体験を通じた豊かな学びを一体的に進めることを望む意見が多いです。

教育・生涯学習に関する意見では、質の高い教育を求める声が多く、具体的には、公立小中学校の教育水準の向上、学力差への対応、教員の質の確保、いじめや不登校への早期対応、支援が必要な子どもへの加配や支援体制の充実などが挙げられました。塾に通わなくても十分な学力を身につけられる公教育や、家庭環境による教育格差を縮小する支援を望む声も多いです。

続いて、教育施設や学習環境の整備に関する意見も見られました。学校校舎や図書館の改善、学習できる学童保育、子どもが遊びながら学べる施設、芸術・スポーツ活動の場の充実などが挙げられます。さらに、タブレット学習への不安や、紙の教科書・読書・自然体験など五感を使った教育を重視する声もありました。

また、年齢に関係なく学び続けられる環境づくりに関する意見で、図書館、生涯学習センター、市民大学など、子どもから高齢者まで学びや趣味を続けられる場の充実が求められています。また、大学や地域資源を活用した講座、自然・歴史・文化に触れる体験機会を増やすべきという意見もありました。

【主なご意見】

- ・ 質の高い教育が受けられるまち
- ・ 塾等に行かせなくても質の高い教育が受けられるまち
- ・ 子どもたちが安心して学び、のびのびと成長できる教育環境の充実や、地域全体で子育てを支え合える仕組みづくりがあるまち
- ・ 小中学校において、「体験格差」が大きくなるような取り組みや行事等が充実しているまち
- ・ 図書館などが勉強出来る心地良いスペースであるまち
- ・ 年齢関係なく学び続けられる環境が整っているまち
- ・ 市民大学のような高齢者も参加できる「学びのプログラム」の充実と施設が確保されたまち など

2. 調査結果

③文化・スポーツ

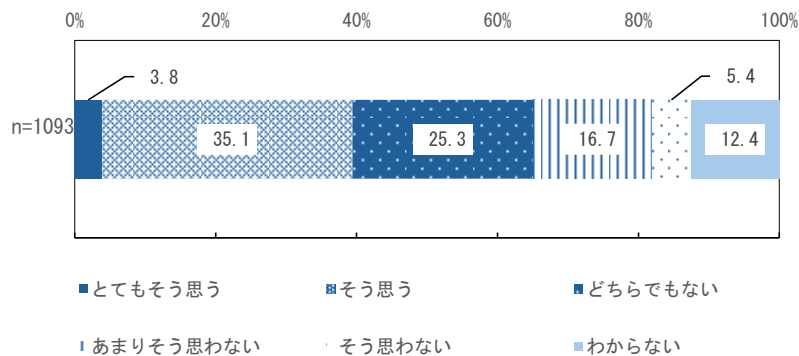
音楽、芸術、スポーツ、文化施設、イベントの充実を求める意見が多いです。地域イベントや情報発信を強化し、若い世代から高齢者まで楽しめるまちづくりを求めています。あわせて、誰もが気軽に参加できるよう体育館やスポーツができる公園、ホールなどの整備を望む意見も多いです。

【主なご意見】

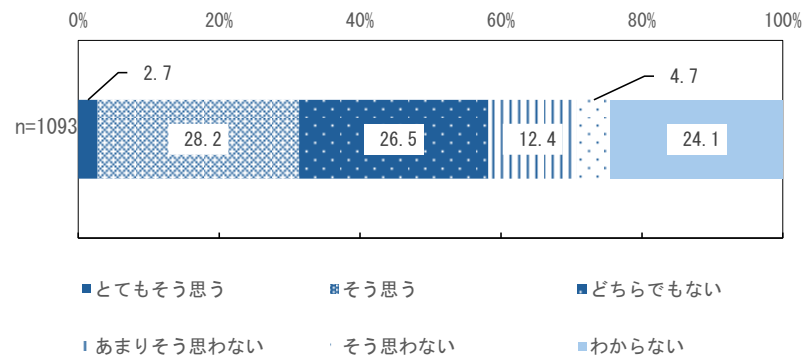
- ・美術館などアートに触れられる施設が充実しているまち
- ・全天候型のレジャー施設が充実しているまち
- ・芸術に触れる機会を増やし、生涯学びや趣味を楽しめるまち
- ・市民で楽しめるスポーツや芸術などのイベントが多いまち
- ・オーケストラ、ジャズ祭などの音楽イベントが充実しているまち
- ・スポーツが楽しめる施設やイベントが充実しているまち
- ・年齢関係なく学び、運動、娯楽が楽しめるまち
- ・市民が参加しやすいイベントやコンサートなどが充実しているまち など

2. 調査結果

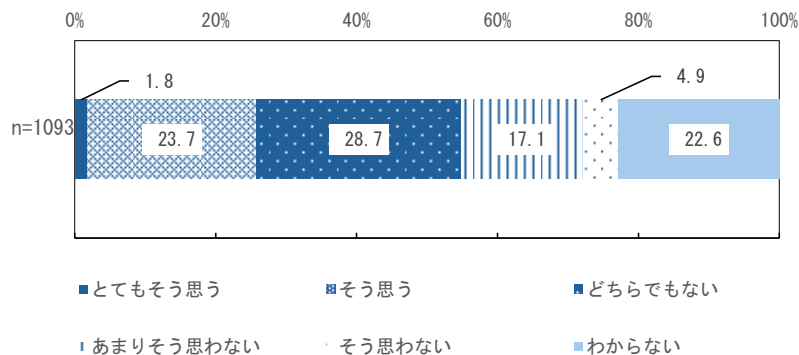
(2 1) あなたは今の枚方市が“人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち”だと思いますか。



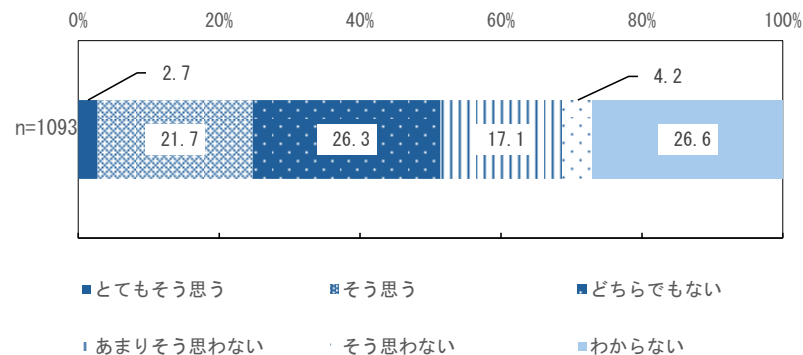
(2 3) あなたは今の枚方市が“いきいきと働くことのできるまち”だと思いますか。



(2 2) あなたは今の枚方市が“地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち”だと思いますか。

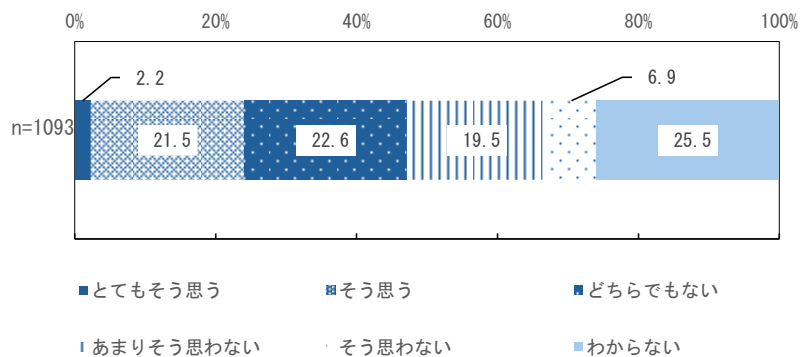


(2 4) あなたは今の枚方市が“地域産業が活発に展開されるまち”だと思いますか。



2. 調査結果

(25) あなたは今の枚方市が“農を守り、生かすまち”だと思いますか。



2. 調査結果

（２６）枚方市が、より“地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち”になるためにはどんなまちづくりが必要ですか。

①地域活性化

全体として、一過性の集客だけでなく、地域資源の魅力発信や住民が参加しやすいイベントを通じて、地域資源をつなげ、住む人が誇りを持ち、活気あるまちを望む意見が多くありました。

地域イベントや祭りの充実を求める声が多く、特に、くらわんか花火大会、五六市、地域の祭り、食、歴史を活かしたイベントなどを通じて、多世代が交流できるにぎわいづくりを望む意見が多いです。一方で、イベント情報が届きにくい、参加しやすい環境や交通手段が不足しているという指摘も見られました。

続いて、歴史・文化・自然・農業など地域資源の活用と発信に関する意見で、淀川や河川敷、ひらかたパーク、古民家、農地や地元野菜など、枚方ならではの資源をもっと市民に周知し、地域の活性化や地産地消に結びつけるべきとの声がありました。

【主なご意見】

- ・五六市などの既存のイベントをさらに歴史や文化に触れるなどを追加して市内外から多くの人が訪れるまち
- ・地域のイベントで多世代が集まる活気のあるまち
- ・地域の魅力を発信し、イベントを行い観光や交流の場があるまち
- ・どこで何があるか、わかりやすいMAP（イベントや施設別）があるまち
- ・歴史や文化を活かし地域イベントで多世代が訪れる活気あるまち
- ・企画したイベントを、いろんな手段で発信できるまち
- ・市の魅力をPRし、より賑わいのあるまち
- ・地域資源をオープンにし、様々な主体がつなげることができるまち など

2. 調査結果

②観光

全体として、歴史・文化・自然・産業を総合的に発信し、住民の愛着形成にもつながる持続的な観光まちづくりを望む意見が多くありました。

イベントや情報発信の強化に関する意見で、花火大会、五六市、ジャズ、祭り、食や音楽のイベントなどをもっとPRし、SNSや広報、官民連携によって枚方の魅力を分かりやすく伝えるべきとの声が多いです。ひらかたパークの印象が強い一方で、それ以外の観光資源や地域産業、農産物、ものづくりが十分知られていないという指摘もありました。

続いて、歴史・文化を活かした観光振興を求める声が多く、宿場町としての歴史、古い街並み、神社、遺跡、菊人形など、枚方ならではの歴史資源をもっと保存・発信し、市内外の人が訪れたいくなるまちにしてほしいという意見が目立ちました。歴史をテーマにした街歩き、謎解き、スタンプラリー、ミステリーツアーなど、楽しみながら学べる仕組みを求める声もありました。

また、淀川河川敷、公園、農業、古民家、商店街、T-SITEやくずはモールなどの既存資源を組み合わせた観光・交流拠点づくりを求める意見も見られました。一方で、観光客誘致よりも住民の暮らしやすさを優先すべきとの慎重な意見もありました。

【主なご意見】

- ・ 歴史や文化を大切にしたい多くの人が訪れたいくなるまち
- ・ 宿場町の魅力発信が強化されたまち
- ・ 市ならではの貴重な地域資源を観光やイベントに最大限に活かしたまち
- ・ 宿場町など主要なところをめぐる謎解きやスタンプラリーの開催があるまち
- ・ 淀川や公園を活かしたイベントの開催があるまち
- ・ 近場の産業をメインにする様な催しを主な駅チカのショッピングモール等々で行い、活発な人々の交流が生まれるまち など

2. 調査結果

③大学

大学の多さを地域の強みにして、地域との連携や若い世代の参画を進めたいという意見がありました。

【主なご意見】

- ・ 地域子どもたちと大学生や留学生が共同で学び合う場があるまち
- ・ 市内の教育機関、若者のパワーを活かす柔軟性のあるまち
- ・ 若い人たちがまちづくりに積極的に参画するまち など

2. 調査結果

④産業・工業・農業

全体として、企業誘致による雇用創出と、農業・自然環境の保全、地域産業の発信を通じ、市民が働く場として、また産業や商業の発展を望む意見が多いです。

企業誘致や働く場の創出を求める声が多く、具体的には、大企業や物流企業、IT関連企業、商業施設の誘致、市内中小企業の連携強化、駅周辺の集客力向上などにより、若い人が市内で働き続けられる環境を整えるべきという意見が多いです。一方で、物流倉庫ばかりでは産業が育たない、商業や産業振興に関する意見も見られました。

農業や農地の保全・活用に関する意見で、農地の減少や農家の高齢化を心配する声が多く、農地を守る、農業体験を増やす、貸農園や市民農園を整備する、農家への補助を行う、地元農産物を安く流通させる仕組みを求める意見がありました。道の駅や直売所、スーパーでの地元野菜コーナーなど、地産地消を進める場の整備も望まれています。

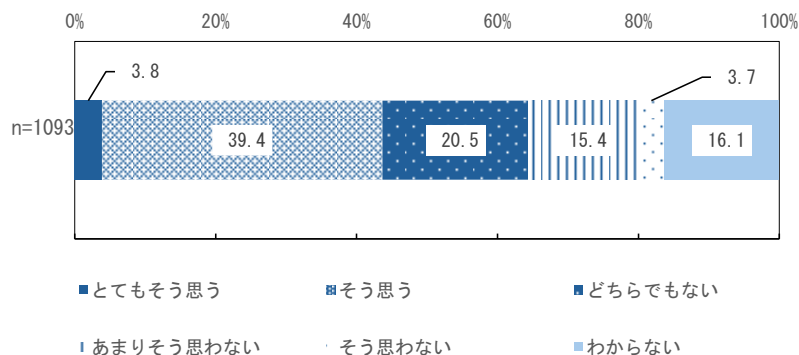
また、地域産業やものづくり、農産物の情報発信を求める意見も見られました。枚方の産業や特産品が市民にも十分知られていないとの指摘があり、イベントや観光、歴史文化と結びつけて発信することが求められています。

【主なご意見】

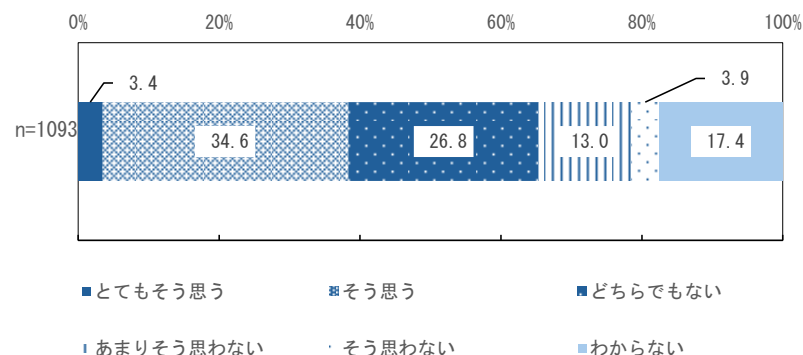
- ・産業が集積し活気あるまち
- ・大きな企業が多く存在するまち
- ・自市に就職したくなるいきいきと働き続けられるまち
- ・大型ショッピングモールを作って雇用を増やすまち
- ・農業をしている人々の販売場所があるまち
- ・農地を減らさないまち
- ・市の地域産業やものづくりを紹介する情報発信が強化されたまち
- ・交通立地に恵まれていることを生かし、物流企業の誘致を進めるまち
- ・倉庫ばかりではない、産業が発展したまち
- ・市内中小企業の連携強化の取り組みが推進されたまち など

2. 調査結果

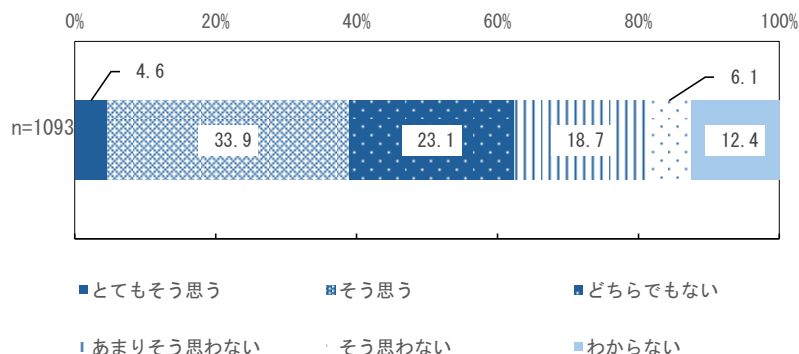
(27) あなたは今の枚方市が“豊かな自然環境を大切にす
るまち”だと思いますか。



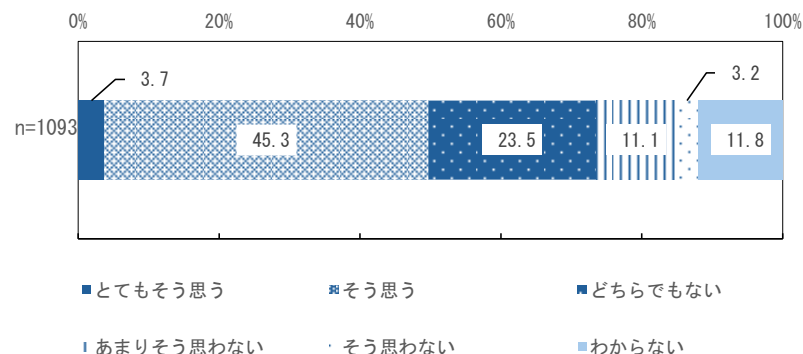
(29) あなたは今の枚方市が“ごみを減らし、資源の
循環が進むまち”だと思いますか。



(28) あなたは今の枚方市が“まちなかのみどりを育てる
まち”だと思いますか。

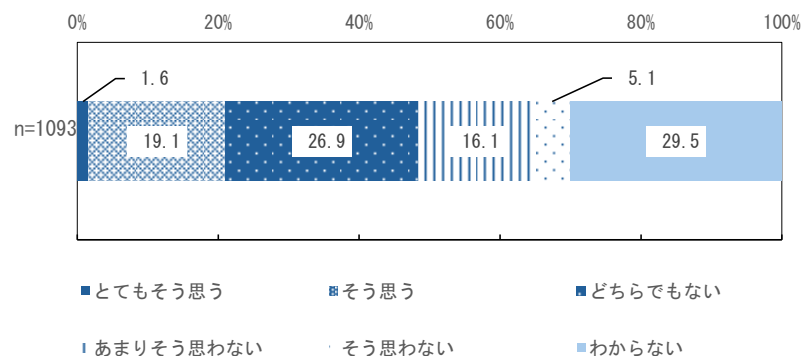


(30) あなたは今の枚方市が“安全で良好な生活環境
が確保されたまち”だと思いますか。

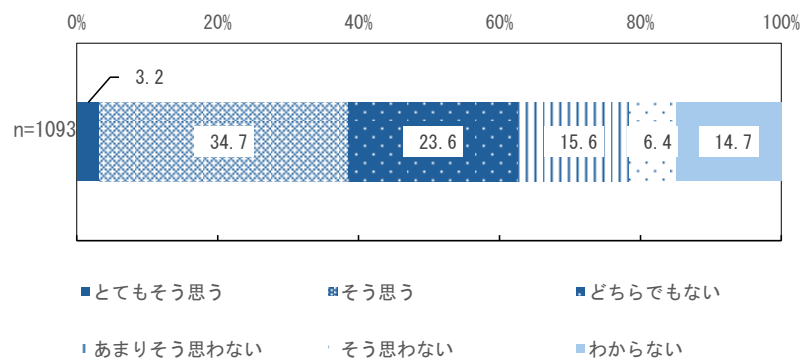


2. 調査結果

（３１）あなたは今の枚方市が“地球温暖化対策に取り組むまち”だと思いますか。



（３２）あなたは今の枚方市が“美しく魅力あるまち並みが育まれるまち”だと思いますか。



2. 調査結果

(33) 枚方市が、より“自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち”になるためにはどんなまちづくりが必要ですか。

①自然環境

全体として、自然保全や環境教育を一体的に進め、自然環境の持続可能なまちを望む意見が多いです。

既存の豊かな自然や緑、公園を守り、充実させることを求める声が多く、特に、山田池公園、市民の森、淀川河川敷、穂谷などの自然環境を守り、魅力ある景観や憩いの場として整備してほしいという意見が目立ちました。一方で、農地や里山が宅地・物流施設に変わっていることへの懸念も多く、過度な開発を抑え、今ある自然を次世代に残すべきとの声がありました。

続いて、公園や河川の維持管理、雑草・草刈り、外来植物や害鳥対策など、身近な生活環境の整備を求める意見も見られました。さらに、子どもへの環境教育、自然体験、農業体験、環境施策の情報発信、無電柱化、スマートな資源循環を求める声もありました。

【主なご意見】

- ・ 今ある自然を減らさず大切に作るまち
- ・ 自然公園が多くあり、歴史的景観を守るまち
- ・ 自然や文化的景観を守るまち
- ・ 公園づくりの充実を図るまち
- ・ 環境教育や自然体験等による自然の大切さを学べるまち など

2. 調査結果

②ごみ減量、省エネ

全体として、ごみを減らし、資源を循環させ、市民が無理なく省エネや環境保全に参加できる仕組みを望む意見が多いです。

ごみの減量、分別、リサイクルの徹底を求める声が多く、具体的には、分別ルールを分かりやすくすること、資源ごみや段ボール、小型家電、電池類を出しやすくすること、リサイクルセンターやリユース・フリーマーケットの活用を進めることなどが挙げられました。一方で、分別が細かすぎると負担が大きいとして、自動選別技術やごみ処理のDX化により、市民が無理なく資源循環に参加できる仕組みを求める意見もありました。

続いて、省エネ・温暖化対策に関する意見も見られました。節電、太陽光発電やクリーンエネルギーの活用、駅前や人が集まる場所へのミスト設置、暑さ対策と環境配慮を両立する取組が求められています。

【主なご意見】

- ・ ごみの減量や公害対策ができるまち
- ・ ゴミとして出された物のうち、リユース出来るものや不用品の譲渡などができる仕組みがあるまち
- ・ 節電など、自身ができることを自主的に取り組むまち
- ・ 暑さ対策がされているまち
- ・ 夏の暑い季節に人が密集するような場所にミストが設置されるまち
- ・ リサイクルが充実したまち など

2. 調査結果

③町並み・景観

全体として、自然・歴史・街並み・清潔さを一体的に整え、住む人が誇れる美しい景観のまちを望む意見が多いです。

ごみのポイ捨てや街路樹や美化活動、緑化、道路・歩道の景観整備に関する意見で、タバコやごみのポイ捨て、街路樹の伐採や剪定の遅れ、雑草の繁茂、歩道の狭さ、電柱や古い建物による雑然とした街並みなどが課題として挙げられ、無電柱化、街路樹の充実、建物の色彩への配慮を求める声が多く見られました。

また、文化的景観の保全・充実を求める声があり、街並み保全や遊歩道や緑地、花のある空間を増やすことで、枚方らしい景観を次世代に引き継ぐことが求められています。

【主なご意見】

- ・ ゴミや環境美化保全意識が向上されたまち
- ・ ポイ捨てが減るように街中にゴミ箱が置いてあるまち
- ・ 街並みが保全されたまち
- ・ 自然や文化的景観を守るまち
- ・ 自然公園、遊歩道コースが充実したまち
- ・ 街路樹が多いまち
- ・ 電柱の地中化が推進されたまち
- ・ まちに、積極的に緑の空間を取り入れるまち など

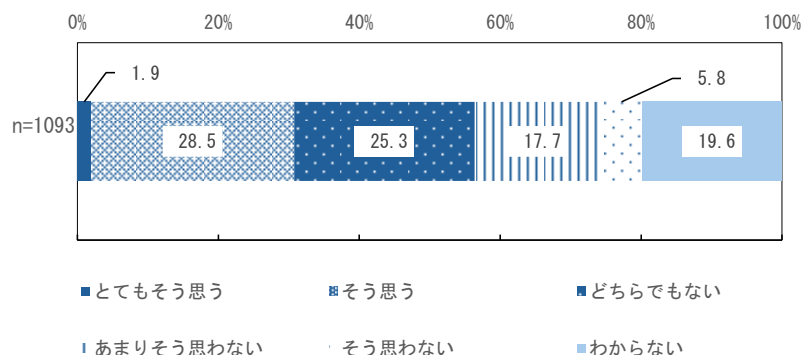
2. 調査結果

なお、まちの分類に区分できないものとして以下のご意見がありました。

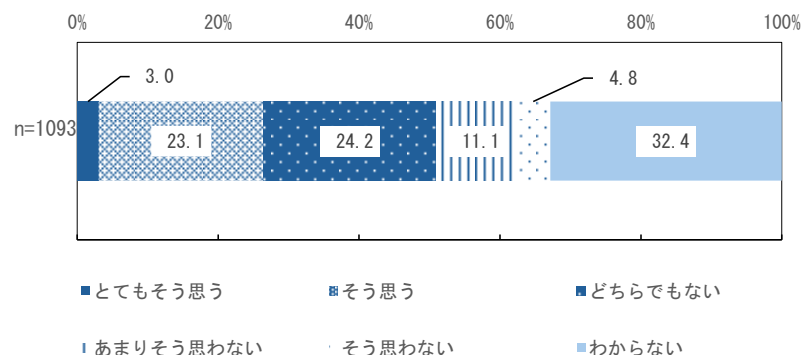
情報発信や市政の可視化、地域コミュニティ、デジタル活用による利便性向上の意見として、行政の積極的な情報発信や市政の可視化といった意見や、自治会活動や地域のつながりなどを求める意見、公共手続きのオンライン化、キャッシュレスを適用したサービスの充実といった意見がありました。

2. 調査結果

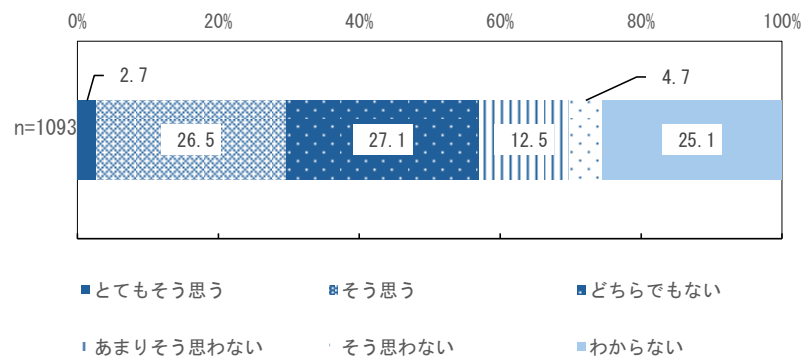
(34) あなたは今の枚方市が“市民との情報の共有化を進めるまち”だと思いますか。



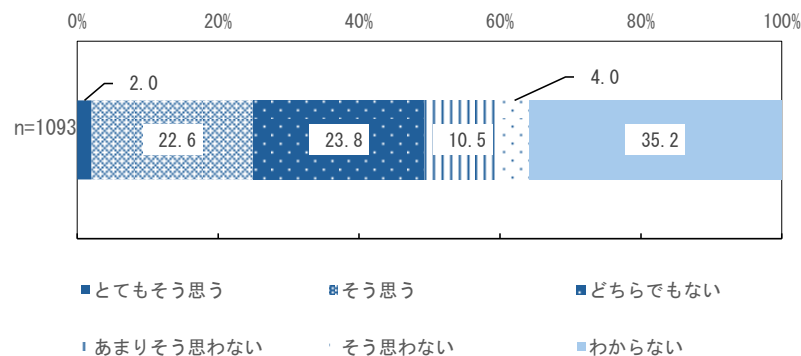
(36) あなたは今の枚方市が“持続可能な行財政運営を進めるまち”だと思いますか。



(35) あなたは今の枚方市が“市民による活発なまちづくり活動を支援するまち”だと思いますか。

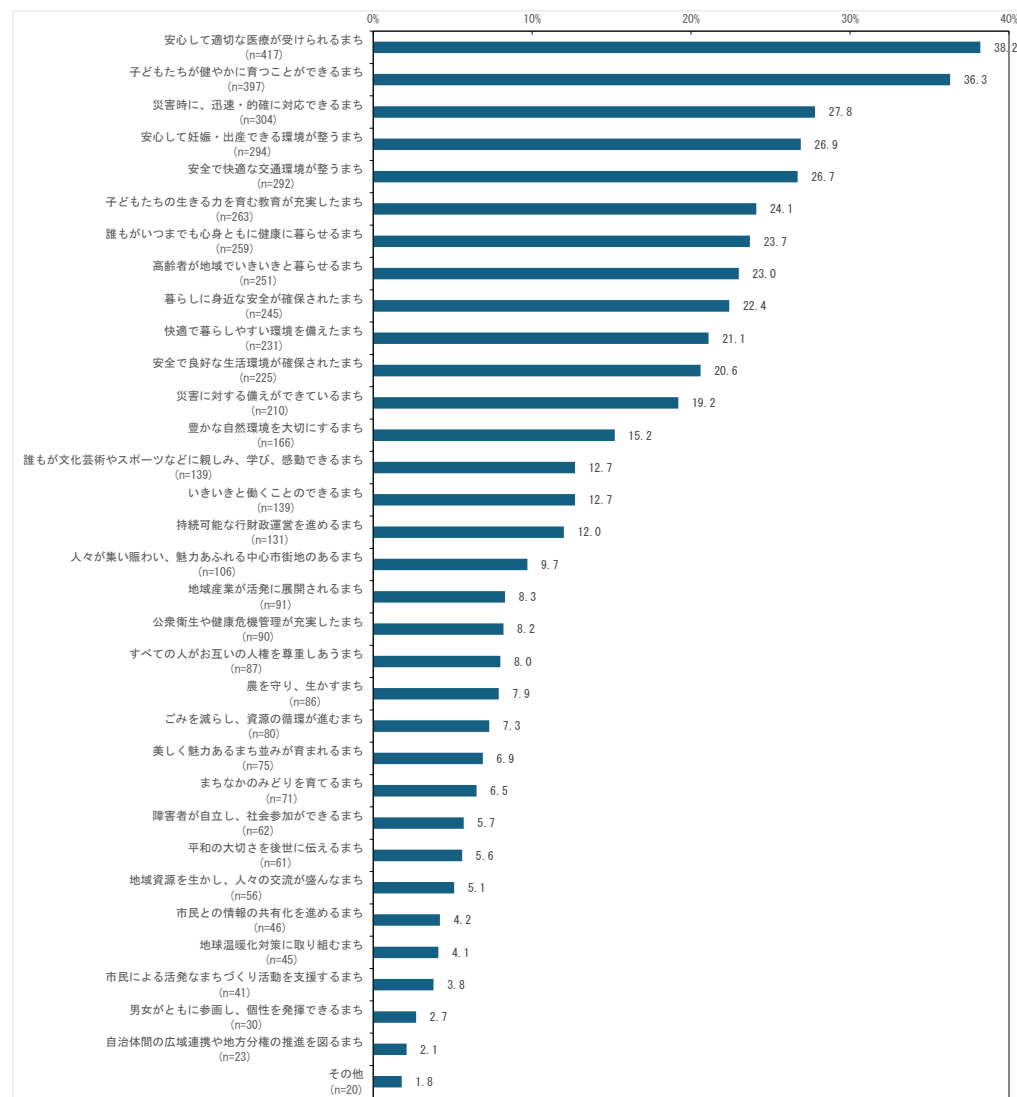


(37) あなたは今の枚方市が“自治体間の広域連携や地方分権の推進を図るまち”だと思いますか。



2. 調査結果

(38) 今後その10 年間であなたが思う、“枚方市が目指すべきまち” はどれですか。あてはまる選択肢を5つまで選択してください。＜複数回答可＞



2. 調査結果

（３９）今後30 年間であなたが思う、“
枚方市が目指すべきまち”はどれですか。
あてはまる選択肢を5つまで選択してく
ださい。＜複数回答可＞

